

令和6年度 測量士試験 午前 問題と解答 No13 (水準測量)

<R06-No13 : 水準測量 : 問題>

図13に示す水準点A～Dにおいて、公共測量における2級水準測量を実施し、表13の観測結果を得た。点検の結果、環閉合差が許容範囲を超えたことから往路及び復路の再測を行うこととした。再測路線として最も適当なものはどれか。次の1～5中から選べ。

ただし、環閉合差の許容範囲は $5\text{mm}\sqrt{s}$ (Sは観測距離, km単位) とする。

なお、関数の値が必要な場合は、巻末の関数表を使用すること。

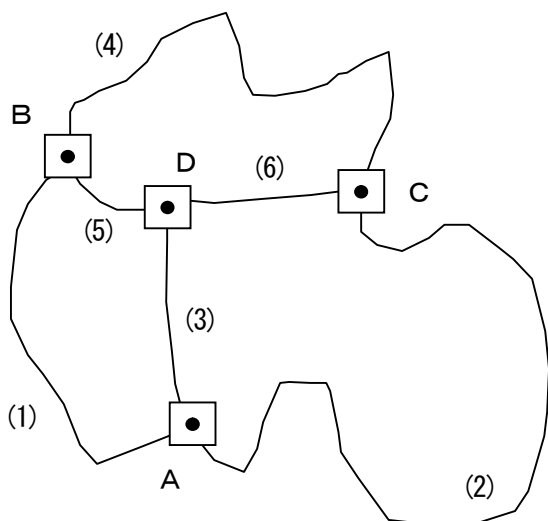


図13

表13

路線番号	路線方向	観測距離	観測高低差
(1)	A → B	5 km	+6.954 m
(2)	A → C	10 km	+3.411 m
(3)	A → D	3 km	+1.840 m
(4)	B → C	5 km	-3.542 m
(5)	B → D	1 km	-5.135 m
(6)	C → D	3 km	-1.599 m

1. 路線 (1)
2. 路線 (2)
3. 路線 (3)
4. 路線 (4)
5. 路線 (5)